

教材・教具の紹介

ツリーチャイムを練習するための自作曲
「チャイムをならそう」

齋 藤 一 雄*

1 自作曲「チャイムをならそう」

障害の重い子どもたちも楽器を見つけると手を出して音を出そうとする。なかでも手で触れるときれいな音のするツリーチャイムは魅力的である。

打楽器の一種ツリーチャイムは、直径数mmで長さ10cm前後のチャイムを半音ずつ横に並べ、糸でつり下げたものである。そのチャイムを手や金属棒などで揺らすと、チャイム同士がぶつかり合ってきれいな音が出る。低い音から高い音へ、グリッサンド奏法で流れ星の効果音などに使われている。

一方、ウィンドチャイムは、直径数mmで長さ10cm前後のチャイムをランダムに糸でつり下げたものである。風が吹くとチャイム同士がぶつかり合ってきれいな音が鳴る。もちろん、手や金属棒などでチャイムに触れても、きれいな音を出すことができる。障害の重い子どもたちが容易に音を出すことができ、楽器による表現を可能にする楽器である。

しかし、音を静かに止めることはむずかしい。何もしいでも自然に止まるが、両手や木の棒、布などで挟み込むと静かに止まる。

コンサート用のツリーチャイムは、高価で扱いにくいので、横幅約20cmの小さいツリーチャイムやウィンドチャイムを使うことにする。そして、低い音から高い音へ、グリッサンド奏法で鳴らしたり、両手でギュッとつかんで音を出してすぐに止める奏法の両者を練習できるように自作曲を開発した。

2 自作曲「チャイムをならそう」の概要

自作曲「チャイムをならそう」は、4／4拍子、ハ長調、8小節の短い曲である。この曲では、グリッサンド奏法を2回、両手でギュッとつかむ奏法を2回行う。歌詞は、「チャイムをならそう」を2回、「今度は両手でギュ」を2回である。

ピアノ伴奏は簡単な音を使い、チャイムを鳴らすときには上昇音を弾き、ギュと両手でつかむときには和音を弾き、奏法の違いを伴奏でも表すことにした。

体を支えることができ、両手を使えるように、イスに座り、机の上の卓上スタンドからツリーチャイムをさげ、演奏しやすいようにすることも重要である。そして、鳴らしたいのをがまんして、「チャイムをならそう」の付点のリズムで鳴らしたくなるような歌の後に、「チャラーン」と鳴らす。さらに、「今度は両手でギュ」の歌の後に両手でギュとチャイムをつかんで鳴らし、止める。

3 指導上の留意点

○児童は一列に机とイスを並べて座る。教師はその前のイスに座る。最初に、「チャイムをならそう」をピアノ演奏で児童に聞いてもらい、曲の構成や雰囲気を感じ取ってもらう。その際、児童の前にいる教師は、歌いながらツリーチャイムやウィンドチャイムを鳴らす動作をしてみせる。また、グリッサンドで鳴らすときには大きな動作で、ギュと両手でつかむときには小さな動作でやさしく表現してみせる。

○次に、実際に「チャイムをならそう」に合わせて楽器を演奏してみせる。その際に、児童の正面ではなく、横を向いてチャイムを鳴らすところが見えるようにする。また、児童にも教師と一緒にチャイムを鳴らすまねをするように促す。「先生がチャイムを鳴らしてみるよ。みんなも一緒に鳴らすまねをしてみてね」と伝えておく。

○それぞれの児童の机の上に、チャイムを下げた卓上スタンドを配布する。手を出して鳴らそうとするか様子を見る。手を出さないようなら、教師が人差し指でチャイムに触れ、音を出して児童の動きを誘う。

○チャイムの音を自分で確かめたなら、音を出さないように、自分の胸の前で両手を組むように促す。「両手を合わせて背中を伸ばすよ」。曲に合わせて演奏するときには、両手を開いて楽器の前に出しておく。

○実際に曲に合わせて楽器を演奏するときには、児童の様子を見ながら、教師が歌いながら見本を見せる、児童の肘を少し押し出してみる、教師の手に児童の手を重ねて楽器に触れる、児童の両手を教師が包み込むようにして「ギュ」と楽器を鳴らすなどの支援をする。また、「音が鳴ったね」「きれいな音だね」「上手に鳴らしたね」「歌にあっていたよ」などの言葉をかける。

○楽器を鳴らすまでに時間がかかりそうな児童の様子が見えたならば、2小節ごとにフェルマータ付きの休止を入れるとよい。

4 活用例

対象は、特別支援学校（知的障害）小学部低学年の児童から高学年の児童、中学部の生徒まで、幅広く適用できる。特に、重複学級の児童生徒には、手で触れるだけできれいな音が出るので活用できる。

自立活動として展開してもよいだろうし、音楽の時間に合奏の基礎的な練習として取り上げるのもよいのではないかと考える。まずは、楽器に自ら手を出して触れて楽しむことを十分に行い、曲の開始や終止がわかり、演奏する部分がわかって手を出すことができるようになることとよい。

* 上越教育大学大学院学校教育研究科

チャイムをならそう

作詞・作曲・齋藤一雄
編曲・齋藤加代子



楽譜 「チャイムをならそう」